

平成 26 年度

# 「運営に関する計画」

小中一貫校むくのき学園

大阪市立啓発小学校

大阪市立中島中学校

平成 26 年 4 月

## 小中一貫校むくのき学園 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標（平成 25 年度～平成 27 年度）

## ◆「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり 【学力の向上】

## 大阪市立啓発小学校の目標

- 児童や保護者アンケートの結果から、授業に関する項目において肯定的回答率を平成 27 年度まで、3 年連続 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 各年度の学習理解度到達診断（国語科・算数科）における正答率 5 割以下の児童を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成 24 年度より、5 ポイント減少させる。 (カリキュラム改革関連)

## 大阪市立中島中学校の目標

- 平成 27 年度の授業アンケートで、「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を、80%以上にする。 (マネジメント改革関連)
- 平成 27 年度の学力到達度を診断するテストにおける各教科の平均正答率を、平成 24 年度より、10 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の漢字能力検定・英語能力検定における中学校 3 年生の 3 級程度以上の力を有する生徒の割合を 30%以上にする。 (グローバル化改革関連)

## 小中一貫校としての目標

- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える児童・生徒の割合を平成 24 年度より、10 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「小中一貫校開校により、中期区分（5 年生）から教科の専門的な指導を受けられたことは良かった」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「電子黒板やタブレット PC を活用した授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

## ◆「生きる力」の礎となる感性や情操など、豊かな心をはぐくむ 【道徳心・社会性の育成】

## 大阪市立啓発小学校の目標

- 児童や保護者のアンケート結果から、自己有用感、人権意識、将来展望に関する項目において、肯定的回答率を平成 27 年度まで、3 年連続 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 児童や保護者のアンケート結果から、規範意識、地域連携に関する項目において、肯定的回答率を平成 27 年度まで、3 年連続 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

## 大阪市立中島中学校の目標

- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を、平成 24 年度より 15%向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を平成 24 年度から 15%向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を平成 24 年度から 15%向上させる。 (カリキュラム改革関連)

**◆心身の健全な成長をめざし、規律・活力ある集団の育成を図る 【健康・体力の保持増進】**

**大阪市立啓発小学校の目標**

- 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、否定的回答率を毎年前年度より減少させ平成 28 年度調査において 10 %以下にする。  
(カリキュラム改革関連)
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点を平成 24 年度より、10 ポイント向上させる。  
(カリキュラム改革関連)

**大阪市立中島中学校の目標**

- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた児童生徒の割合を、平成 24 年度より 15 %減少させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の新体力テストにおける各学年の合計得点を、平成 24 年度より 15 ポイント向上させる。  
(カリキュラム改革関連)

**小中一貫校としての目標**

- 平成 27 年度の本校アンケート調査における「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と答える児童生徒の割合を 90 %以上にする。  
(マネジメント改革関連)

## 2 中期目標の達成に向けた本年度目標・・・《ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進》

### 【視点 学力の向上】

#### ◆「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり

##### 大阪市立啓発小学校の目標

- 児童や保護者アンケートの結果から、授業に関する項目において肯定的回答率を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の学習理解度到達診断(国語科・算数科)における正答率5割以下の児童を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成25年度より、5ポイント減少させる。  
(カリキュラム改革関連)

##### 大阪市立中島中学校の目標

- 平成26年度の授業アンケートで、「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を、75%以上にする。  
(マネジメント改革関連)
- 平成26年度の学力到達度を診断するテストにおける各教科の平均正答率を、平成25年度より、5ポイント向上させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の漢字能力検定・英語能力検定における中学校3年生の3級程度以上の力を有する生徒の割合を20%以上にする。  
(グローバル化改革関連)

##### 小中一貫校としての目標

- 平成26年度の本校アンケート調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している(どちらかといえばしている)」と答える児童・生徒の割合を平成25年度より5ポイント向上させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の本校アンケート調査における「小中一貫校開校により、中期区分(5年生)から教科の専門的な指導を受けられたことは良かった」と答える生徒の割合を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の本校アンケート調査における「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の本校アンケート調査における「電子黒板やタブレットPCを活用した授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

#### ◆「生きる力」の礎となる感性や情操など、豊かな心をはぐくむ

##### 大阪市立啓発小学校の目標

- 児童や保護者のアンケート結果から、自己有用感、人権意識、将来展望に関する項目において、肯定的回答率を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)
- 児童や保護者のアンケート結果から、規範意識、地域連携に関する項目において、肯定的回答率を80%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)

##### 大阪市立中島中学校の目標

- 平成26年度の本校アンケート調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を、平成25年度より5%向上させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の本校アンケート調査における「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を平成25年度から5%向上させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の本校アンケート調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を平成25年度から5%向上させる。  
(カリキュラム改革関連)

**【視点 健康・体力の保持増進】**

**◆心身の健全な成長をめざし、規律・活力ある集団の育成を図る**

**大阪市立啓発小学校の目標**

- 平成26年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、否定的回答率を10%以下にする。(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点を平成25年度より、5ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

**大阪市立中島中学校の目標**

- 平成26年度の本校アンケート調査における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた児童生徒の割合を、平成25年度より5%減少させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度の新体力テストにおける各学年の合計得点を、平成25年度より5ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

**小中一貫校としての目標**

- 平成26年度の本校アンケート調査における「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と答える生徒を平成25年度より5%向上させる。(マネジメント改革関連)

小中一貫校むくのき学園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【学力の向上】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>◆「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり</b></p> <p><b>大阪市立啓発小学校の目標</b></p> <p>①-(小)児童や保護者アンケートの結果から、授業に関する項目において肯定的回答率を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②-(小)平成26年度の学習理解度到達診断（国語科・算数科）における正答率5割以下の児童を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成25年度より、5ポイント減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p><b>大阪市立中島中学校の目標</b></p> <p>①-(中)平成26年度の授業アンケートで、「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を、75%以上にする。 (マネジメント改革関連)</p> <p>②-(中)平成26年度の学力到達度を診断するテストにおける各教科の平均正答率を、平成25年度より、5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③-(中)平成26年度の漢字能力検定・英語能力検定における中学校3年生の3級程度以上の力を有する生徒の割合を20%以上にする。 (グローバル化改革関連)</p> <p><b>小中一貫校としての目標</b></p> <p>(1)平成26年度の本校アンケート調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える児童・生徒の割合を平成25年度より5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>(2)平成26年度の本校アンケート調査における「小中一貫校開校により、中期区分（5年生）から教科の専門的な指導を受けられたことは良かった」と答える生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>(3)平成26年度の本校アンケート調査における「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>(4)平成26年度の本校アンケート調査における「電子黒板やタブレットPCを活用した授業はわかりやすい」と答える児童・生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①-(小)【「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり】</b></p> <p>ICTの利活用を通して学習意欲を高め、自分なりの考えを持ち、それを伝え合う力を育成する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>日常的にICT機器を活用する。また考えや意見を表現する場を1単元につき1回以上設定する。</p>	
<p><b>取組内容②-(小)【「わかる喜び」が実感できる授業づくり】</b></p> <p>学力実態を測るためのシステムを活用して実態把握を進め、セーフティーネットづくりに努める。</p>	

<b>指標</b> 定期的に児童の実態及び補充が必要な児童を共通理解し、指導にあたる。		
<b>取組内容①-(中)【「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり】</b> ICT の利活用を通して学習意欲を高め、自分なりの考えを持ち、それを伝え合う力を育成する。		
<b>指標</b> 日常的に ICT 機器を活用する。また考えや意見を表現する場を 1 単元につき 1 回以上設定する。		
<b>取組内容②-(中)【「わかる喜び」が実感できる授業づくり】</b> 生徒の学力到達度の共通理解をはかり、多面的に生徒の実態を把握する。		
<b>指標</b> 短縮授業期間や長期休業を利用し補充学習を行う。		
<b>取組内容③-(中)【言語活動の充実】</b> コミュニケーションの手段として漢字や英語の魅力を伝える。		
<b>指標</b> 漢字能力や英語能力を客観的に確認できる場を設定する。		
<b>取組内容(1)【自主学習習慣の確立】</b> 放課後学習や自主学習ノートなどを活用し、学習意欲を喚起させる。		
<b>指標</b> 家庭学習や宿題の提出率を向上し、「できる喜び」を感じさせる。		
<b>取組内容(2)【小中一貫した教育の推進】</b> 小中一貫校の利点をいかし、小学校からの学びの連続性や一貫性を重視したカリキュラムを編成する。特に協働授業については年間を通した授業のあり方と課題の洗い出しを図る。		
<b>指標</b> 小学校教員と中学校教員で協働授業の研究をし、公開授業をする。		
<b>取組内容(3)【習熟度別少人数授業の充実】</b> 少人数授業やグループ学習などの指導法を工夫する。		
<b>指標</b> (小) 国語・算数において少人数授業やグループ学習に取り組む。 (中) 五教科を中心に少人数授業やグループ学習に取り組む。		
<b>取組内容(4)【ICT を活用した学習の充実】</b> ICT 機器を活用し、児童・生徒の興味・関心を高め、基礎・基本の定着を図る。		
<b>指標</b> 年に 1 回以上、ICT 機器を活用した公開授業をする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

小中一貫校むくのき学園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【道徳心・社会性の育成】

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>◆「生きる力」の礎となる感性や情操など、豊かな心をはぐくむ</p> <p><b>大阪市立啓発小学校の目標</b></p> <p>①-(小)児童や保護者のアンケート結果から、自己有用感、人権意識、将来展望に関する項目において、肯定的回答率を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②-(小)児童や保護者のアンケート結果から、規範意識、地域連携に関する項目において、肯定的回答率を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p><b>大阪市立中島中学校の目標</b></p> <p>①-(中)平成26年度の本校アンケート調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を、平成25年度より5%向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②-(中)平成26年度の本校アンケート調査における「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を平成25年度から5%向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③-(中)平成26年度の本校アンケート調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を平成25年度から5%向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①-(小)【自己有用感の育成・人権を尊重する教育の推進】</b></p> <p>「児童同士をつなぐ取り組み」を継続していくことで、「ちがい」を認め合い協働する力を育成し、なかまと協力して活動することの喜びを感じられるようにする。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>すべての児童に自分の思いや考えを表現する力を育成することで、自己肯定感の比率を前年度より高める。</p>	
<p><b>取組内容②-(小)【規範意識の育成・防災教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的な生活習慣や規範意識を醸成し、集団生活を通して社会連帯の基礎を養う。</li> <li>・土曜授業などを通して、保護者・地域の方々とともに防災に関する知識や災害時に備えた実践をする。</li> </ul> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のきまりをもとに、指導のあり方を共有しながら、子どもの規範意識を高めていくとともに、遅刻をなくし、時間を守って行動できるようにする。</li> <li>・通常の避難訓練を年3回、保護者・地域と連携した取り組みを年1回実施する。</li> </ul>	
<p><b>取組内容①-(中)【自己有用感の育成・人権を尊重する教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流や自主活動、その他体験学習などを通して、互いのちがいを認め、「共生社会」の実現をめざし、人権尊重の精神と態度を養う。</li> </ul> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>人をきずつけるような言葉や行動に対して腹が立つ人それぞれのちがいを大切にすることを学習していく。</p>	



<b>取組内容②-(中)【キャリア教育の推進】</b> ・ 自己有用感をはぐくむ 9 年間を見通した系統的なキャリア教育と進路指導の充実		
<b>指標</b> 9 年間を見通した各学年の年間計画を作成する。		
<b>取組内容③-(中)【道徳教育の推進】</b> ・ 特別活動や他教科との関連を図りながら、道徳の読み物教材や副読本を活用して、心の教育の深化充実を図る。		
<b>指標</b> 9 年間を見通した各学年の年間計画を作成する。		
年度目標の達成状況や取組の結果と分析		
次年度への改善点		

小中一貫校むくのき学園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【健康・体力の保持増進】

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>◆心身の健全な成長をめざし、規律・活力ある集団の育成を図る</p> <p><b>大阪市立啓発小学校の目標</b></p> <p>① -(小)平成26年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、否定的回答率を10%以下にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p><b>大阪市立中島中学校の目標</b></p> <p>① -(中)平成26年度の本校アンケート調査における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた児童生徒の割合を、平成25年度より5%減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p><b>小中一貫校としての目標</b></p> <p>(1)平成26年度の新体力テストにおける各学年の合計得点を、平成25年度より5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>(2)平成26年度の本校アンケート調査における「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と答える生徒を平成25年度より5%向上させる。 (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【健康的な生活習慣の確立】</b></p> <p>「食べて 動いて よくねよう」を合言葉に、保健指導や栄養指導を中心にしながら、自ら健康的な生活ができるように促す。</p> <p><b>指標</b> 7月と1月に生活点検表を行い、その前後に中学生保健委員会による生活実態調査を実施し健康な生活への意識を高めることで、前年度より朝食摂取率を上げていく。</p>	
<p><b>取組内容(1)【体力向上への支援】</b></p> <p>小：体育の授業を中心に、運動への興味関心を高められるよう工夫する。 中：体力づくりを重視し、ストレッチや柔軟性を高めるトレーニングを授業や部活動に取り入れ、意欲的に運動に取り組めるようにする。</p> <p><b>指標</b> 小：休み時間の遊びを充実させるとともに、「耐寒かけあし」を実施するなど運動に親しむ機会を増やす。 中：部活動の充実に努めるとともに、体育大会や球技大会などの取り組みを通して体力向上を図る。</p>	
<p><b>取組内容(2)【活気のある学校づくり】</b></p> <p>集団生活を通して心身の調和と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明日への会や終学活、学級活動などで互いを認め合う取り組みを日常的に継続して行う。</li> <li>・部活動、四者活動などの自主的な活動を充実させ、委員会活動やさまざまな異年齢交流の場を設定する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点